



株式会社 要興業

東証スタンダード：6566



日経・東証IRフェア 2026 会社説明資料

2026年8月28日・8月29日

01.会社概要

02.事業区分別の概要

03.業績予想

一般廃棄物収集運搬業
特別区許可第77号

交通ルール重視
安全運転実施中

会社概要

01. Company Profile

事業系廃棄物の収集運搬をメインとし、運搬から処分まで行っている廃棄物処理業者です。
(中間処理)

社 名	株式会社要興業 英文表記：KANAME KOGYO CO.,LTD.
本 社	東京都豊島区池袋 2丁目14-8 池袋エヌエスビル
代 表 者	代表取締役会長 藤居 秀三 代表取締役社長 村木 宣彦
創 業	昭和47（1972）年6月
設 立	昭和48（1973）年4月
資 本 金	8億2773万6875円
子 会 社	株式会社ヨドセイ（東京都豊島区）
事業内容	総合廃棄物処理事業 （単一セグメント）

＊ ＊社名の由来＊ ＊

創業当初、本社を構えた場所が
「東京都豊島区要町」
そこからとり
「要興業」となりました。

2026年6月で創業54周年！

藤居会長が2人の兄、姉と共に興した会社です



連結売上高



149億円

連結営業利益



21億円

連結営業利益率



14.1%

2026年6月で



創業54年

東京23区の事業系
収集運搬のシェア



トップクラス

自己資本比率



80.9%

経営理念

環境保全と循環型社会に貢献する企業であること

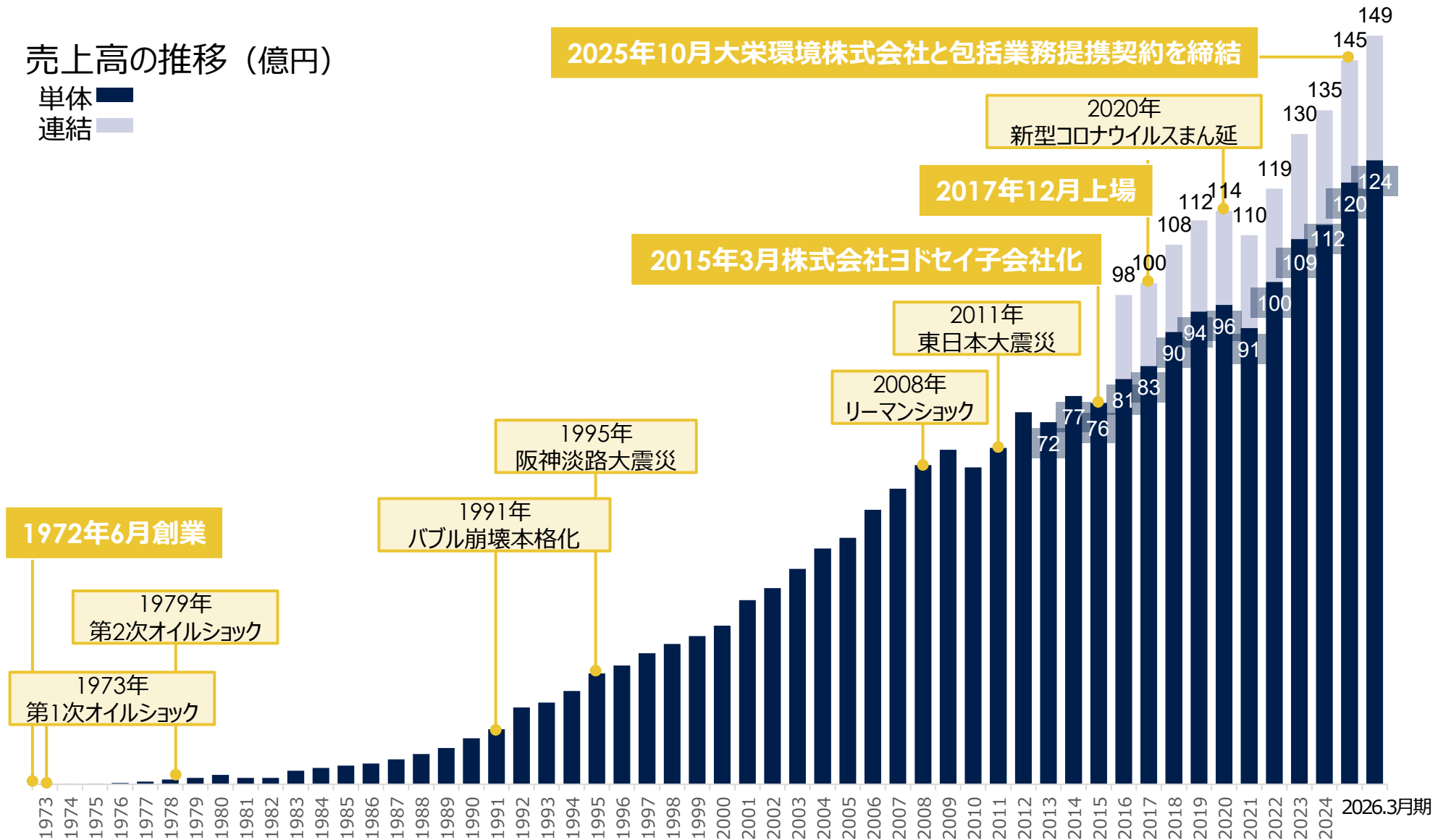
経営方針

- ◆ 快適な都市生活と資源の循環を推進するため
適正な廃棄物処理と資源リサイクルを業とします
- ◆ お客様から信頼される質の高いサービスを提供します
- ◆ 関係する行政、企業、地域との共生を図ります
- ◆ 持続発展をめざし、株主と社員を大切にします

創業以来、順調に事業を拡大し、成長を継続

売上高の推移（億円）

単体 ■
連結 ■



2026年3月末時点で車両台数は連結で477台。単体で325台。

- 一般廃棄物収集運搬車（可燃・不燃・食品廃棄物）



- 感染性廃棄物運搬車



- 産業廃棄物収集運搬車（ビン・缶・ペットボトル・廃プラスチック類）



- 機密書類収集運搬車（機密書類・機密媒体）



- 粗大・古紙収集運搬車（粗大・古紙等）



- 計量車両



本社、支社、リサイクルセンター、グループ会社、出資先の事業所、合わせて13拠点

産 産業廃棄物

板橋事業所
板橋リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ スプレー缶・ライターの破碎 産
- ◆ 蛍光灯の破碎 産

子会社 (株)ヨドセイ



- ◆ 一般家庭の廃棄物の収集運搬
- ◆ 事業系廃棄物の収集運搬

城南島事業所
城南島リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類・金属くずの破碎 産

大森事業所
大森リサイクルセンター



- ◆ ビン・缶・ペットボトルの破碎・選別圧縮・圧縮梱包 産
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産

本社



足立支社



足立区

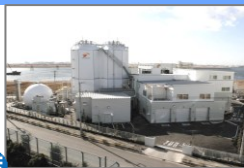
板橋区

豊島区

大田区

出資先

バイオエナジー(株)



- ◆ 食品廃棄物のバイオ発電

(株)アルフォ



- ◆ 食品廃棄物の飼料化・バイオ発電

入谷事業所
第1・第2入谷リサイクルセンター



- ◆ 古紙の選別・圧縮
- ◆ 機密書類の裁断
- ◆ 木製家具の選別
- ◆ ふとんの選別
- ◆ 機密性プラ製品の破碎 産
- ◆ 発泡スチロールの破碎・溶融 産
- ◆ スプレー缶・ライターの破碎 産

新鹿浜事業所
新鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 廃プラスチック類の破碎 産

鹿浜事業所
鹿浜リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 産業廃棄物の積替保管 産
- ◆ 粗大ごみの破碎 産
- ◆ 蛍光灯の破碎 産

千住事業所
千住リサイクルセンター



- ◆ 行政委託資源物の処理
- ◆ 事業系一般不燃廃棄物の圧縮
- ◆ ビン・缶・ペットボトルの破碎・選別圧縮・圧縮梱包 産
- ◆ 廃プラスチック類の圧縮 産

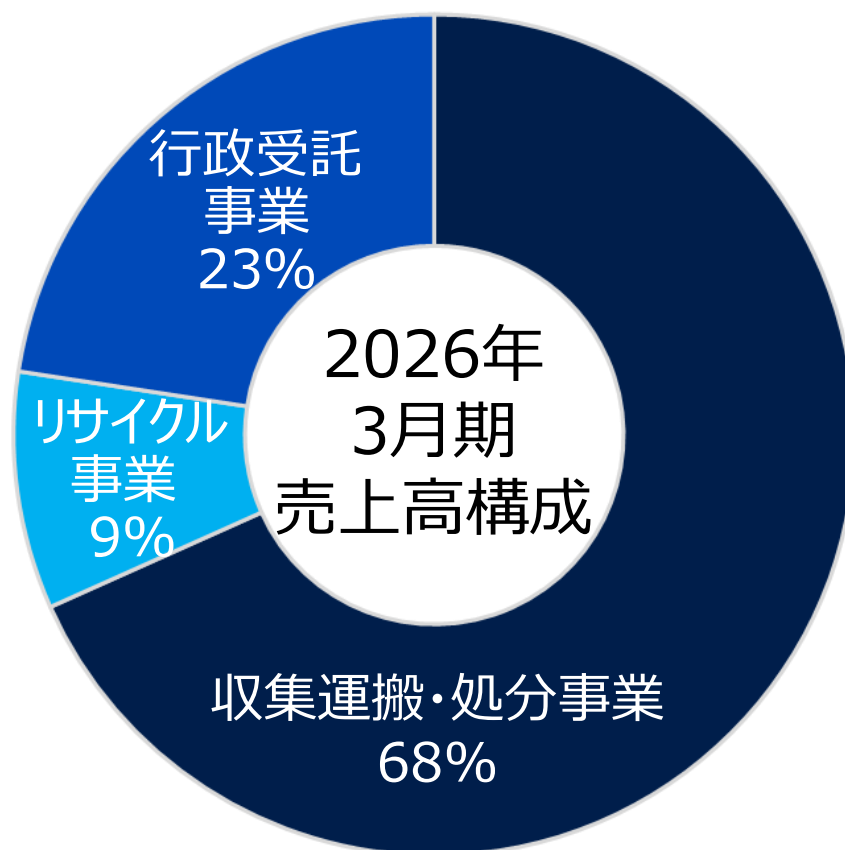
廃棄物の収集運搬・処分に対する**フィー収入**に加え、リサイクル事業での**販売収入**を計上





事業区分別の概況

02. Business Segment Overview



収集運搬・処分事業



68%

リサイクル事業



9%

行政受託事業



23%

日常的にオフィスから出る廃棄物を対象

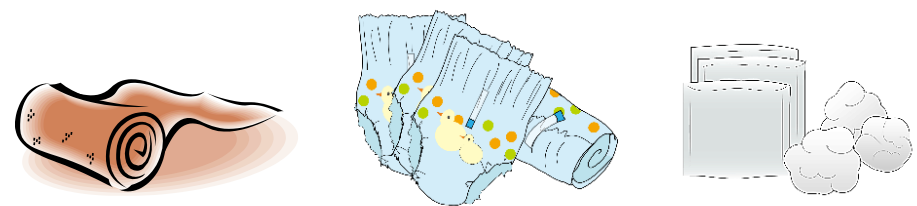
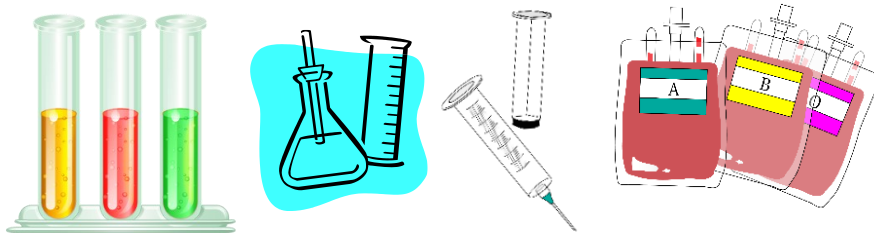
産業廃棄物



一般廃棄物



特別管理産業・一般（感染性）廃棄物



お客様となるのは？



あらゆる事業者が顧客となる。



百貨店・スーパー・コンビニ



ホテル



病院・診療所



運輸



飲食



学校



銀行



さまざまな業種の事務所

事業所毎に契約を結び、廃棄物を収集し、処分をする事業

〈収集運搬業〉

種類・品目ごとに
それぞれの車両で回収し、



種類ごとにそれぞれの処分場へ運搬する。

〈処分業〉

可燃ごみ

紙ごみ

びん缶PET

廃プラスチック類



定期と臨時、月極と出来高

<定期回収・・・事前に契約を結び、定期的に回収する>



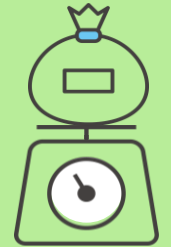
オフィス等で日々発生する日常のごみ

月極

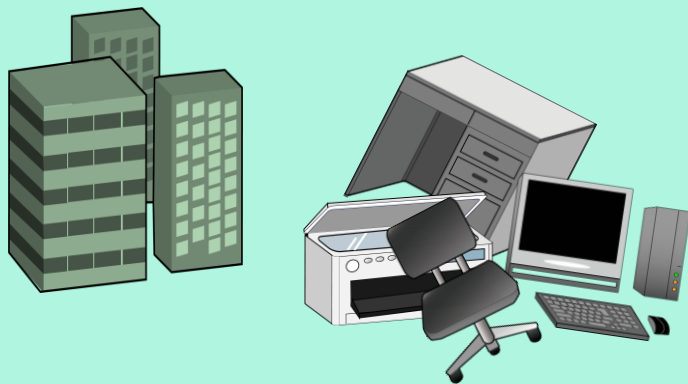


出来高

or

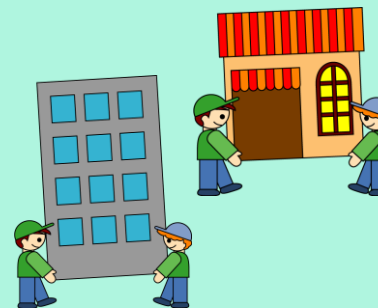


<臨時回収・・・都度契約を結び、回収する>



オフィス等で発生する粗大ごみ

オフィスや店舗の移転



イベント開催時 など



期間限定で発生する大量のごみ

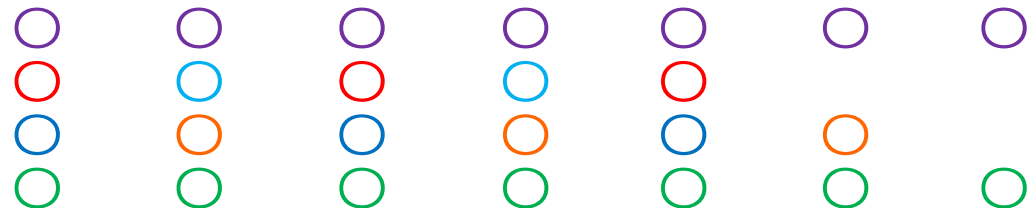
事業所毎に廃棄物の種類・量/収集頻度で相対で価格を決める。

廃棄物の種類・量

回収頻度



日常オフィスからでるごみを回収してほしい



飲食店やオフィスが入居している複合ビルのため、日常でるごみの他に、医療機関からでる感染性や非感染性のごみも回収してほしい

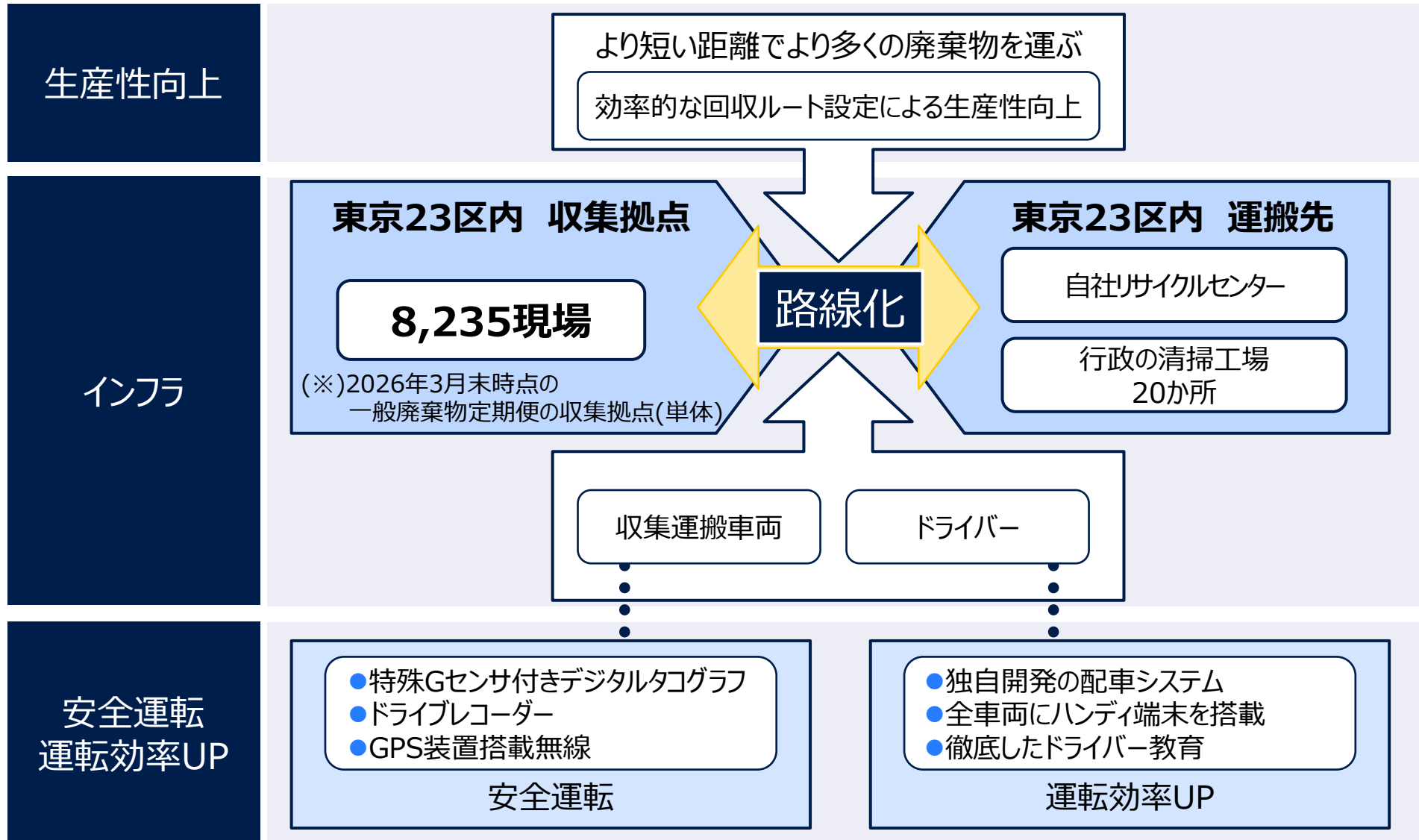


生ごみ(食品リサイクル)は毎日 ・ 早朝の回収が必須

当社のメインは定期回収。一度契約すると継続して回収することができる。

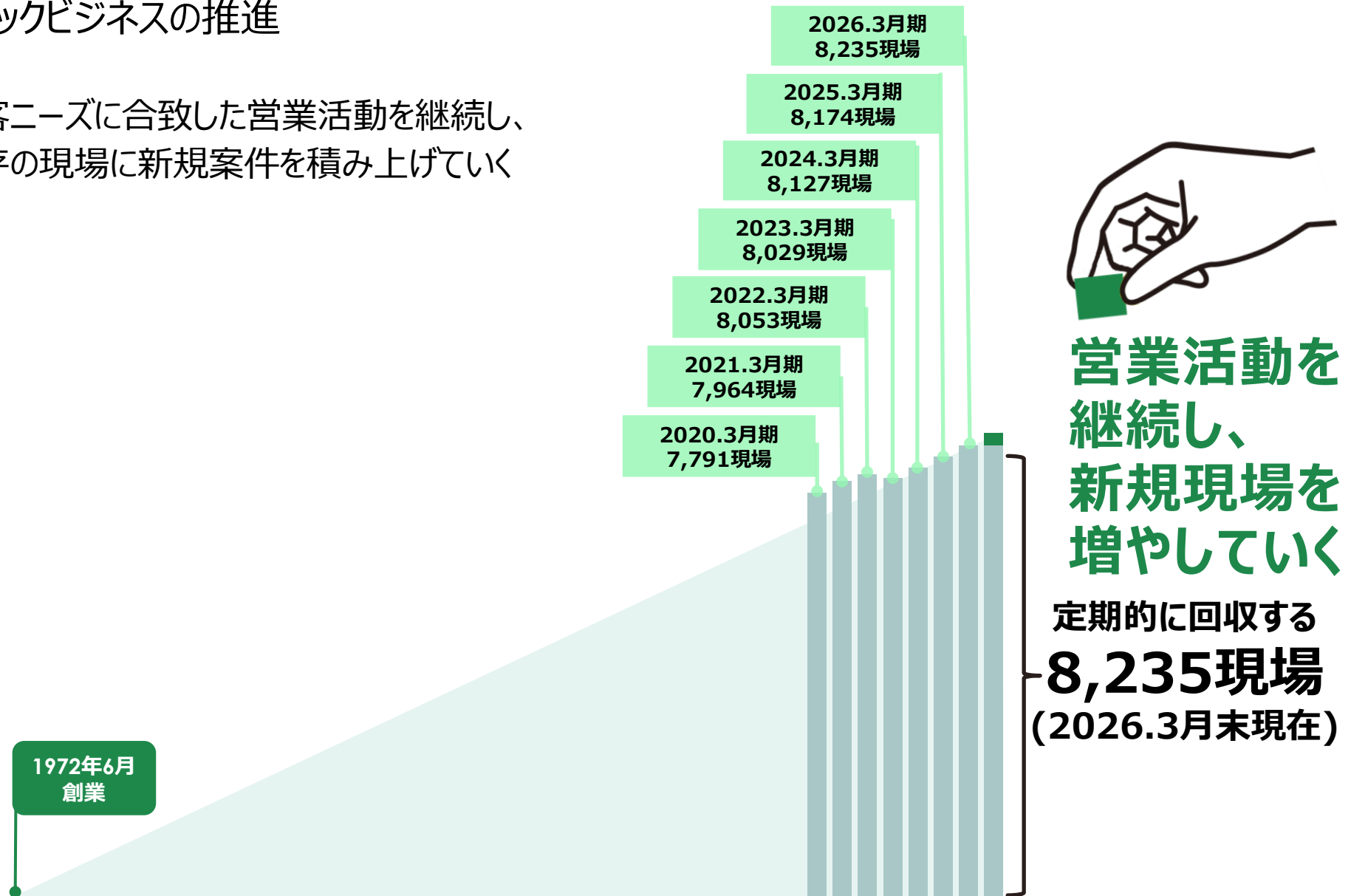


東京23区内の**路線化**により、効率的な収益基盤と圧倒的な競争優位性を確立



ストックビジネスの推進

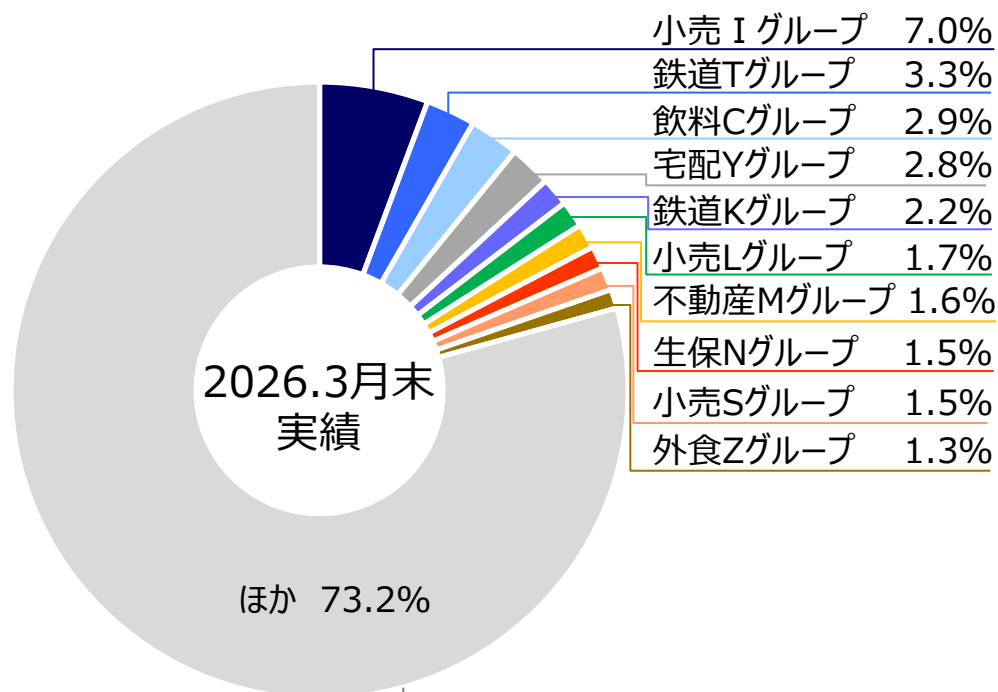
顧客ニーズに合致した営業活動を継続し、
既存の現場に新規案件を積み上げていく



業界唯一の**コンサルティング**営業と随一の**コンプライアンス**体制
コンプライアンス意識の高い大手企業から**選ばれる**存在

顧客別売上高構成比（％）

ビルメンテ、ビルオーナー、店舗、メーカー、
一般企業、など**3,848社**が顧客（2026.3月末）



流通、小売り、鉄道、商社、運輸、飲料、不動産、通信、銀行、
証券、マスコミ、電機メーカー、自動車メーカー、病院、大学など
あらゆる業種、事業体

業界随一のコンプライアンス体制

- ◆ 自社開発ソフトによる電子マニフェスト管理
- ◆ 廃棄物処理法に関する勉強会
- ◆ 安全運転に関する指導
- ◆ 労務管理に関する勉強会

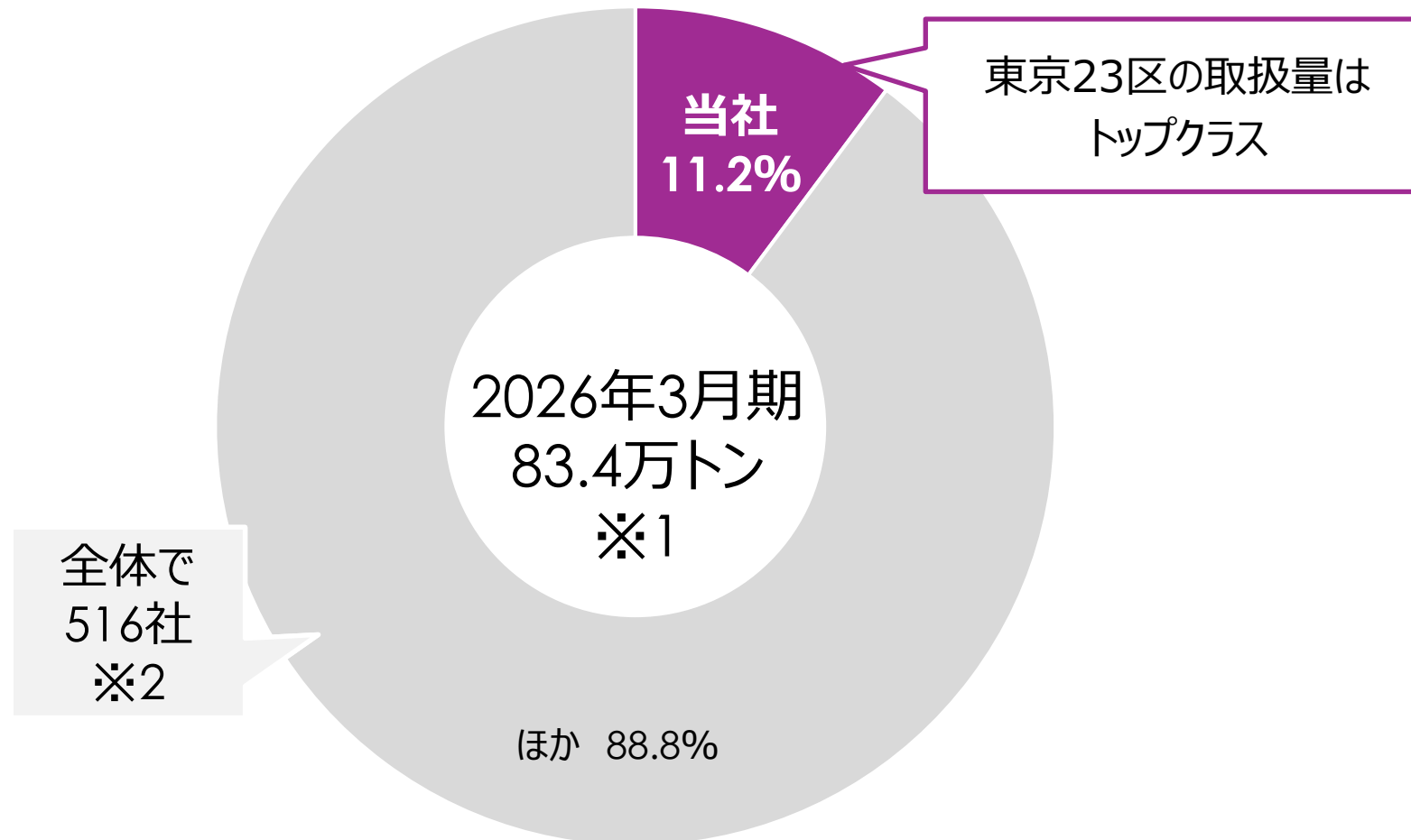
継続的な施策の実施
社会的信頼を得る努力

業界唯一のコンサルティング営業

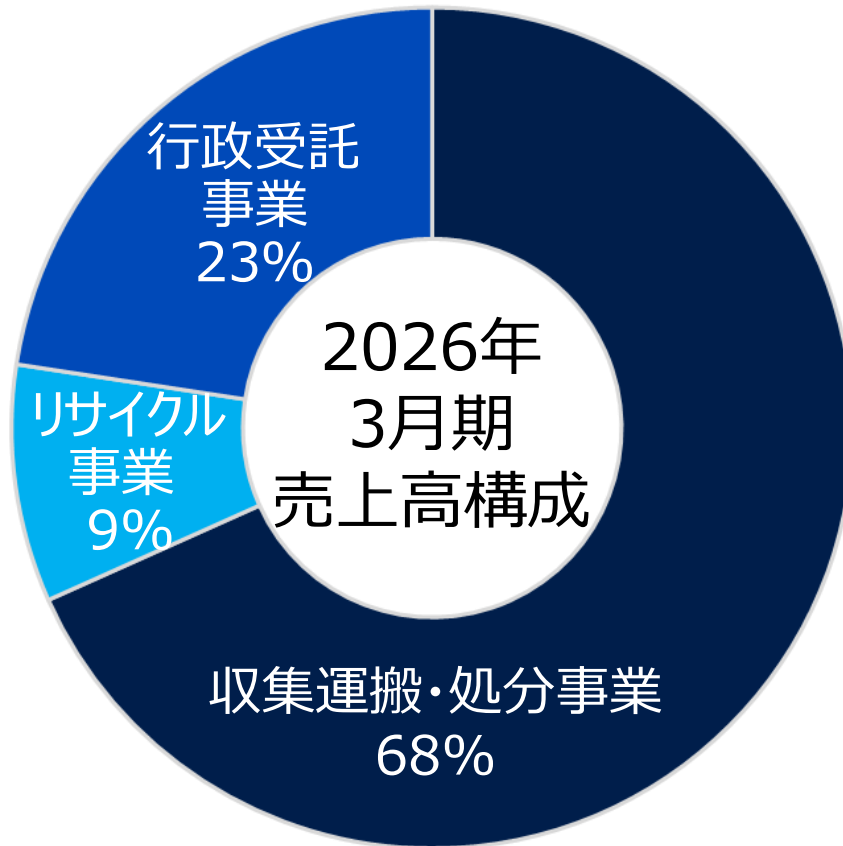
- ◆ 効率的な運用体制の指南
- ◆ 計量フローの確立
- ◆ 啓蒙活動(セミナーの開催、小冊子発行など)
- ◆ 臭気、衛生対策 など

事業系一般廃棄物の収集運搬事業で業界トップクラス

◆ 東京23区一般廃棄物持ち込み量



出所) ※1 東京二十三区清掃一部事務組合HP ※2 東京都廃棄物事業協同組合調査結果報告書
令和4年3月 東京都中小企業団体中央会発行



収集運搬・処分事業



68%

リサイクル事業



9%

行政受託事業



23%

根幹事業である収集運搬・処分事業を伸ばすことで資源の量を確保

収集運搬処分事業で回収した金属、古紙、樹脂を売却する事業のため、収集運搬処分事業が伸びることにより資源の扱い量が増え、相乗効果が期待できる。

収集運搬・処分事業

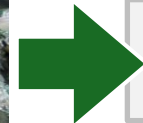
リサイクル事業



売上高【販売】



業者・
事業会社



23区内の自社リサイクルセンター・アライアンス先で再資源化



古紙ベール



発泡スチロールインゴット



段ボールベール



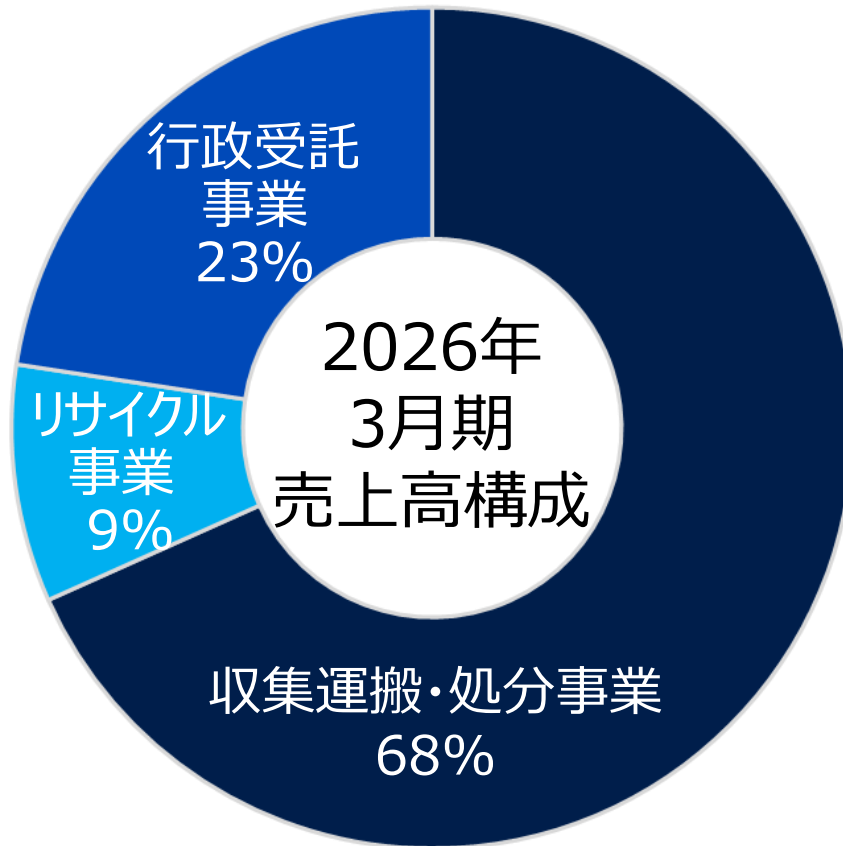
アルミ缶プレス



PETベール



スチール缶プレス



収集運搬・処分事業



68%

リサイクル事業



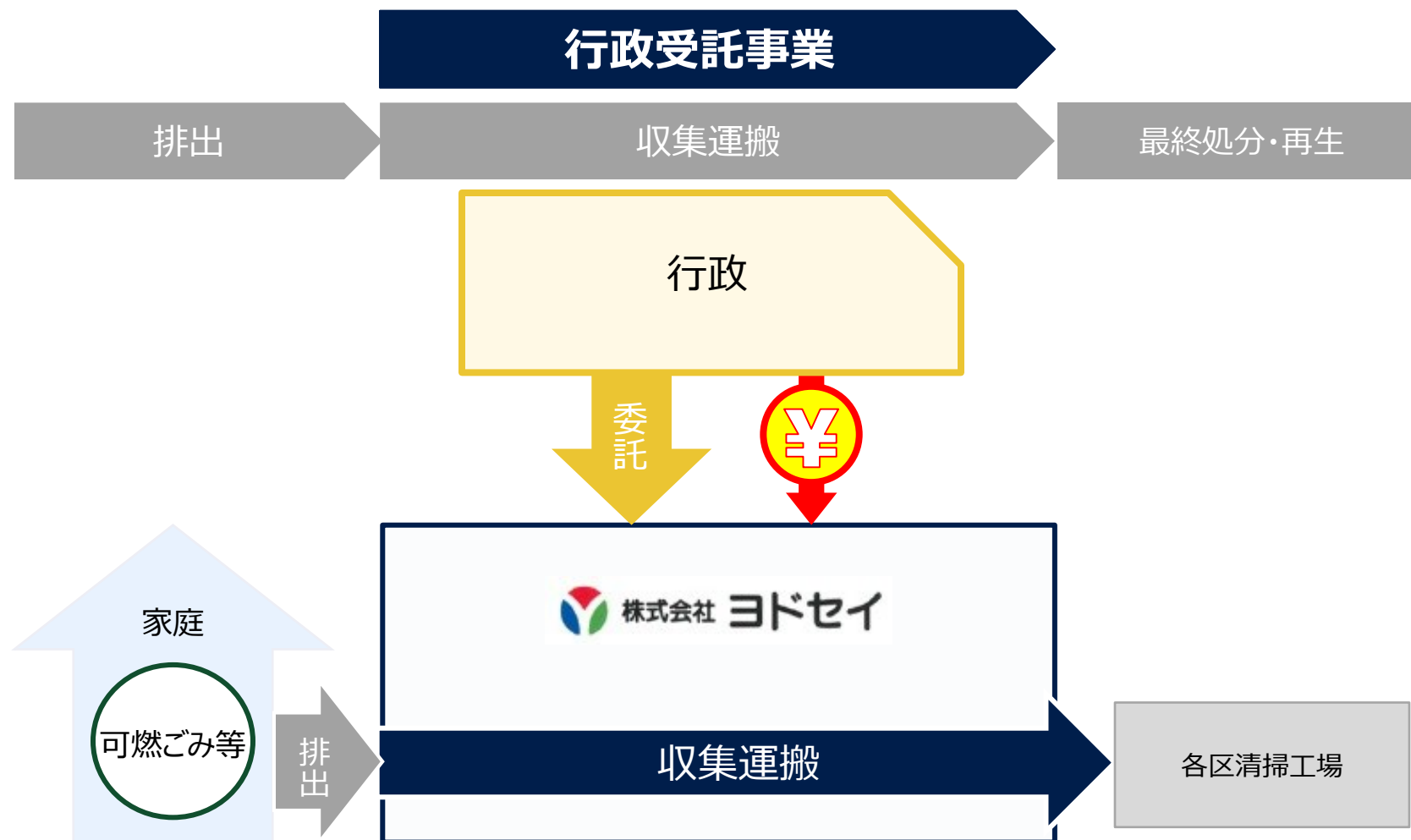
9%

行政受託事業



23%

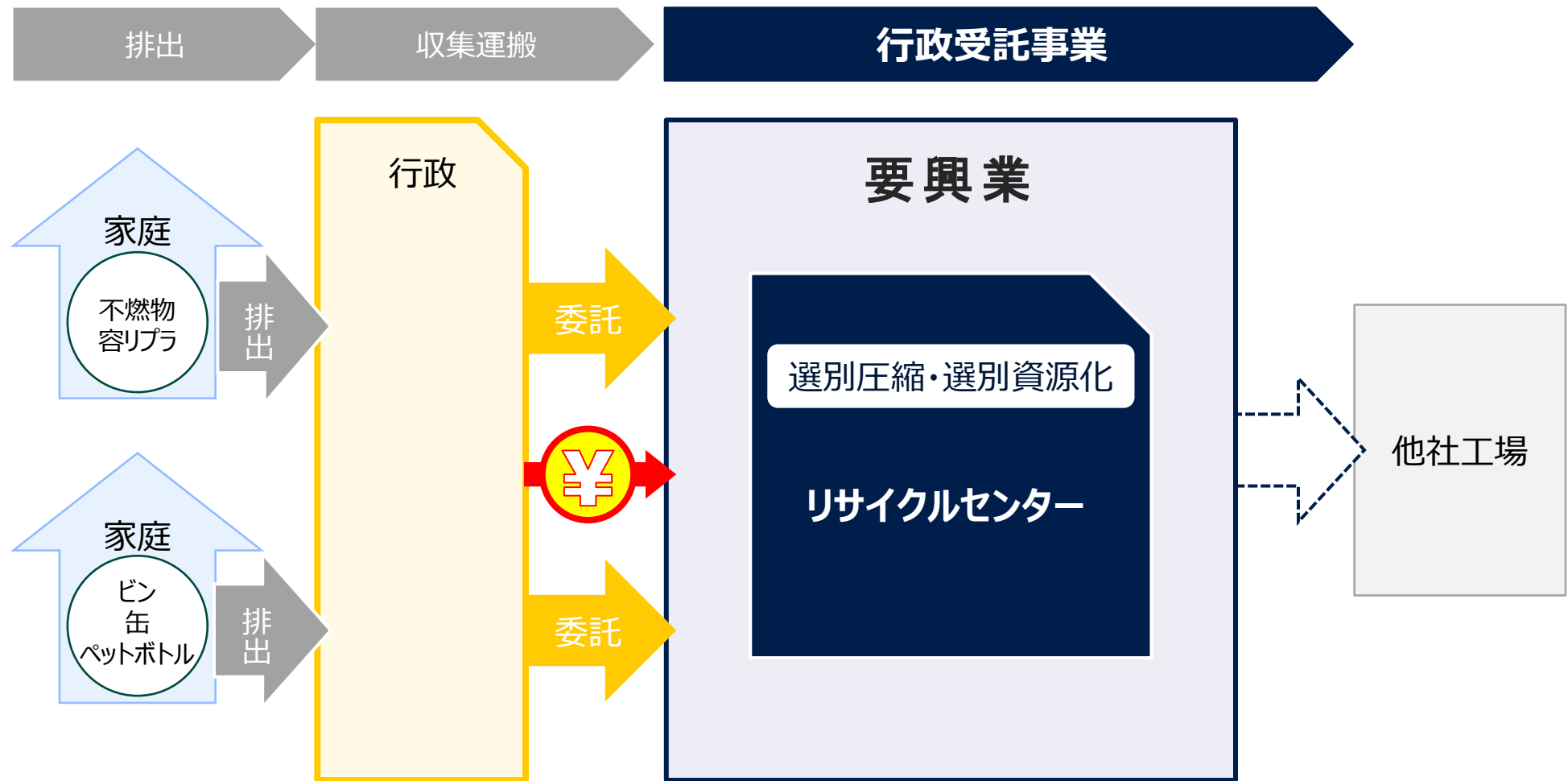
家庭ごみを収集し、行政区の清掃工場へ**運搬**



23区内の家庭ごみを収集する車両



リサイクルセンターに**家庭ごみ**を受け入れて、**リサイクル（再資源化）**を行う

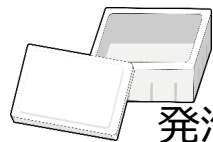


要興業のリサイクルセンターで扱う資源物は、このようなものとなります。

燃やさないモノ

資源

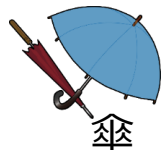
容器包装・製品プラスチック



発泡スチロール



廃プラスチック類



傘



ガラス・陶磁器



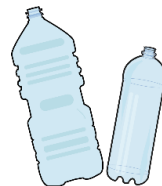
鉄製調理器具



丸電球



スプレー缶



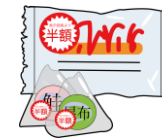
PET



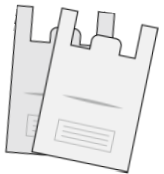
缶類



びん



綺麗なプラスチック



レジ袋



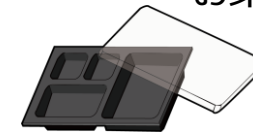
卵パック



お菓子の袋



容器類



お弁当・お惣菜の容器



文房具



日用品



おもちゃ

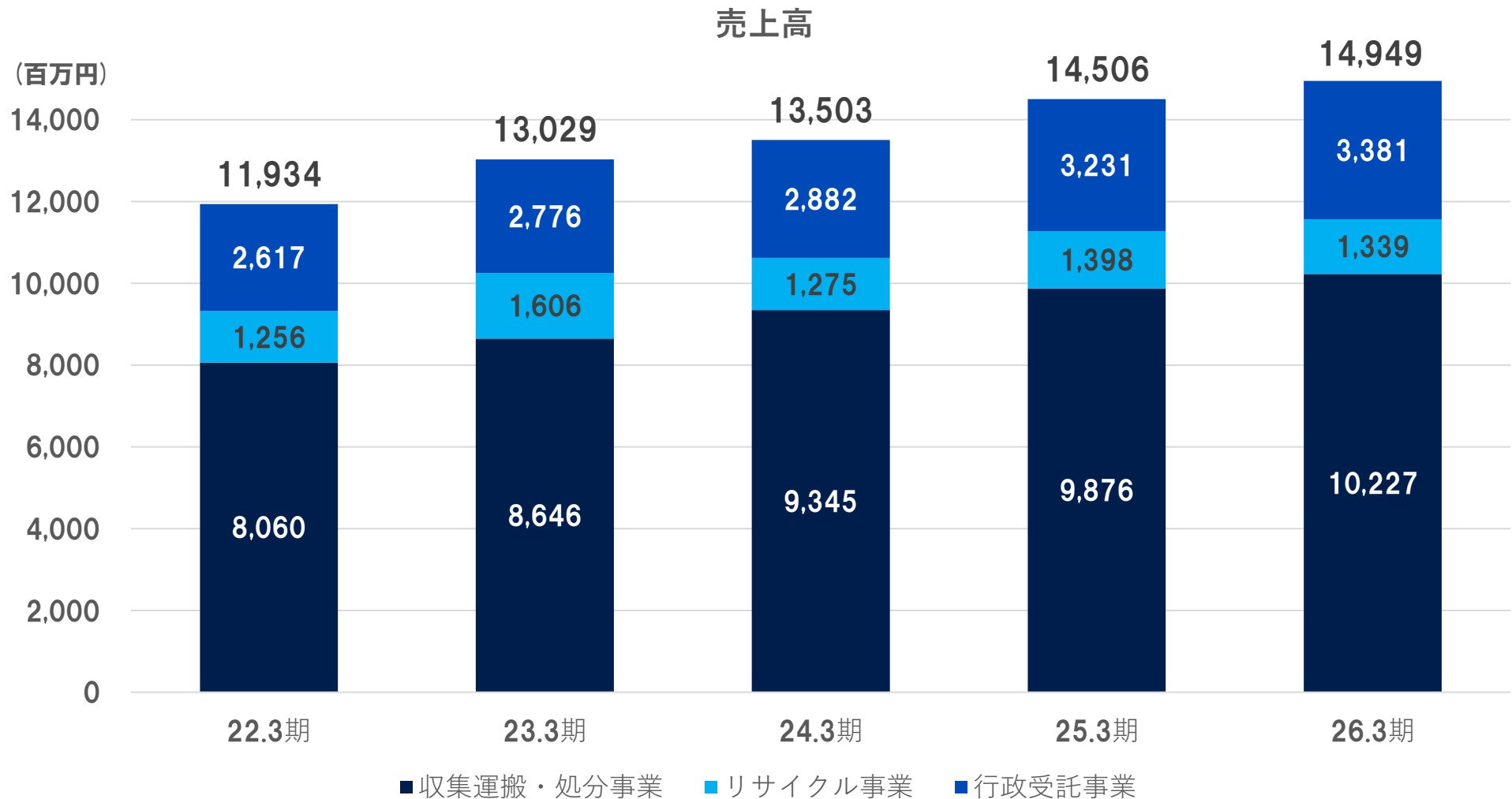
リサイクルセンターでカテゴリー毎に選別し、アライアンス先へ搬出する不燃物資源化事業



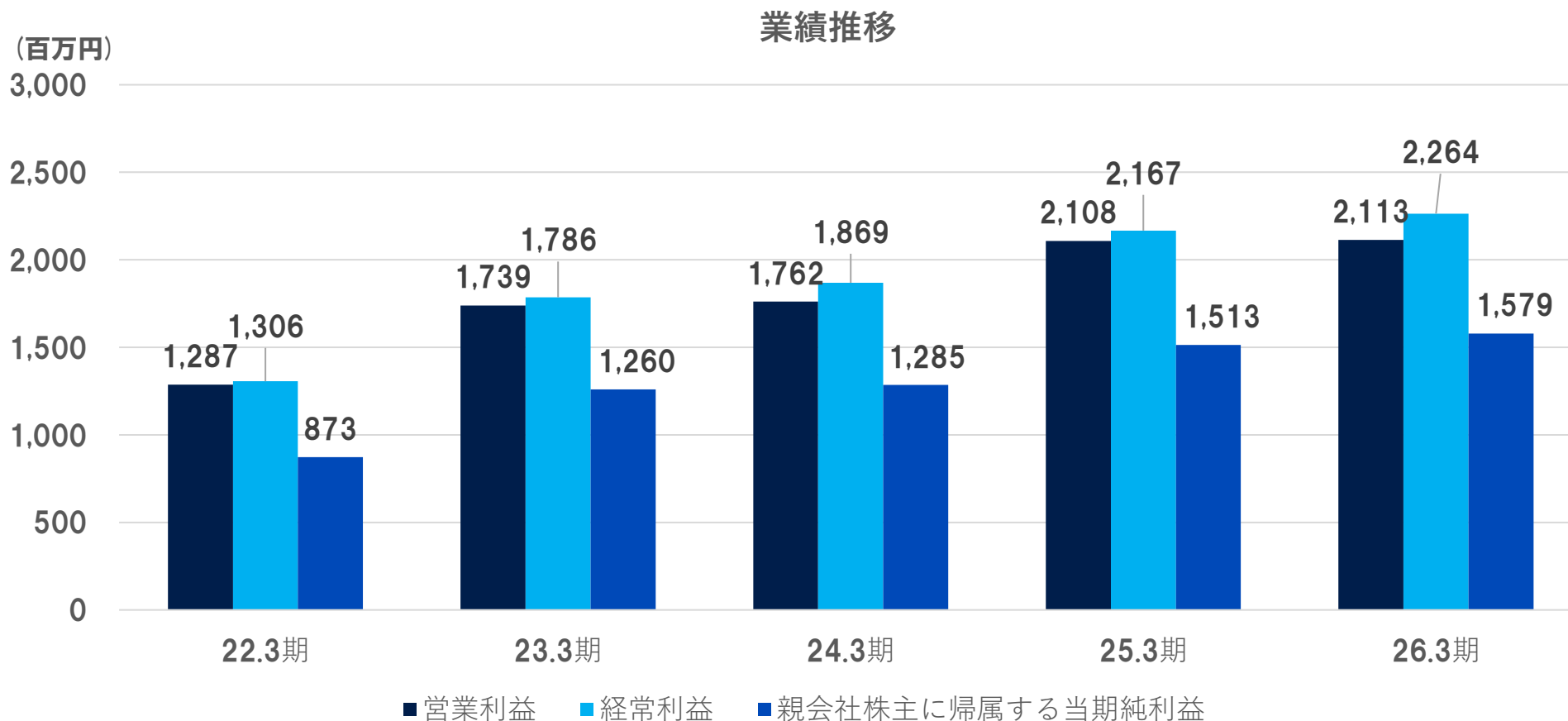
家庭系プラスチックを選別・圧縮する事業



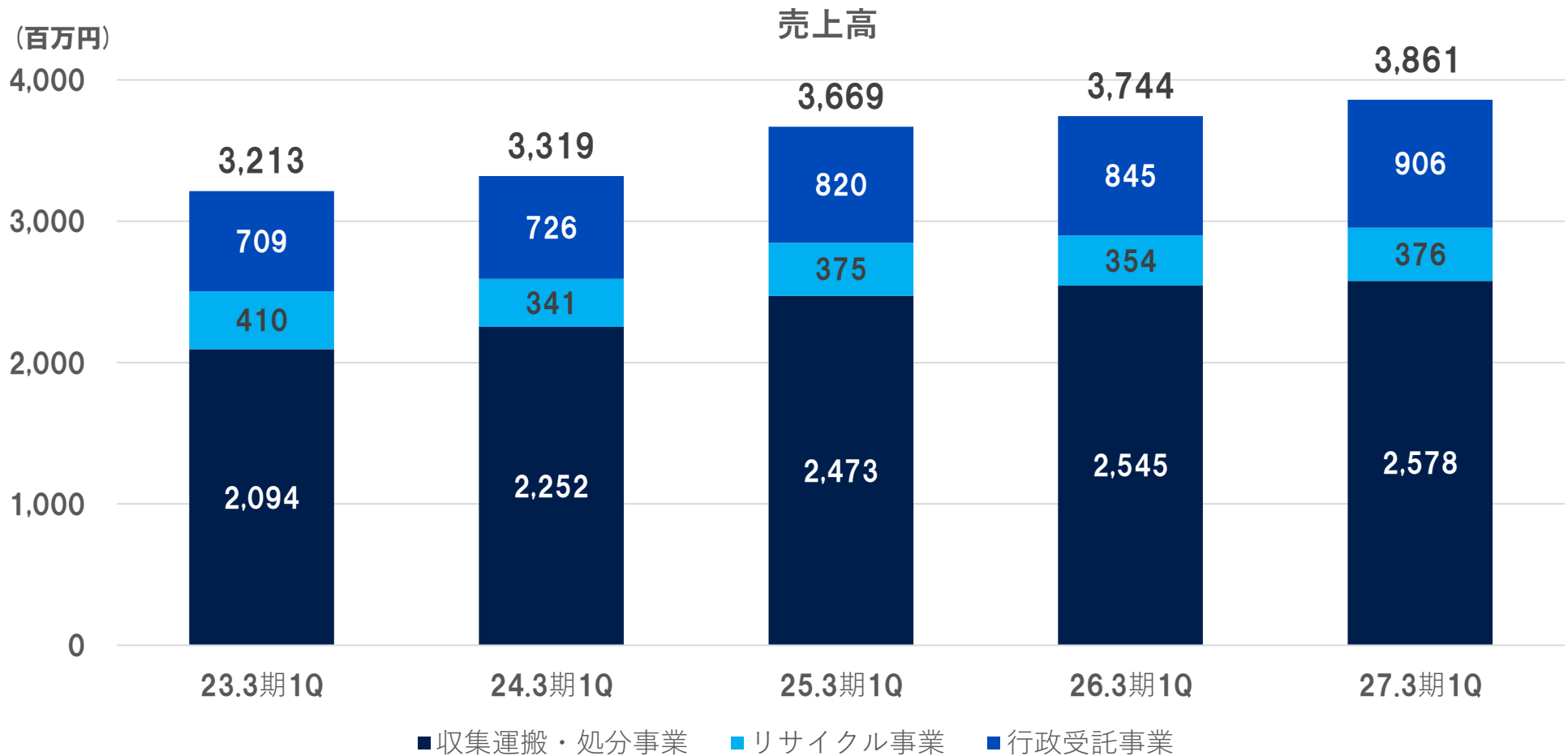
- 売上高は順調に拡大しております。
- 2022年3月期と比べると25.2%の増収となりました。



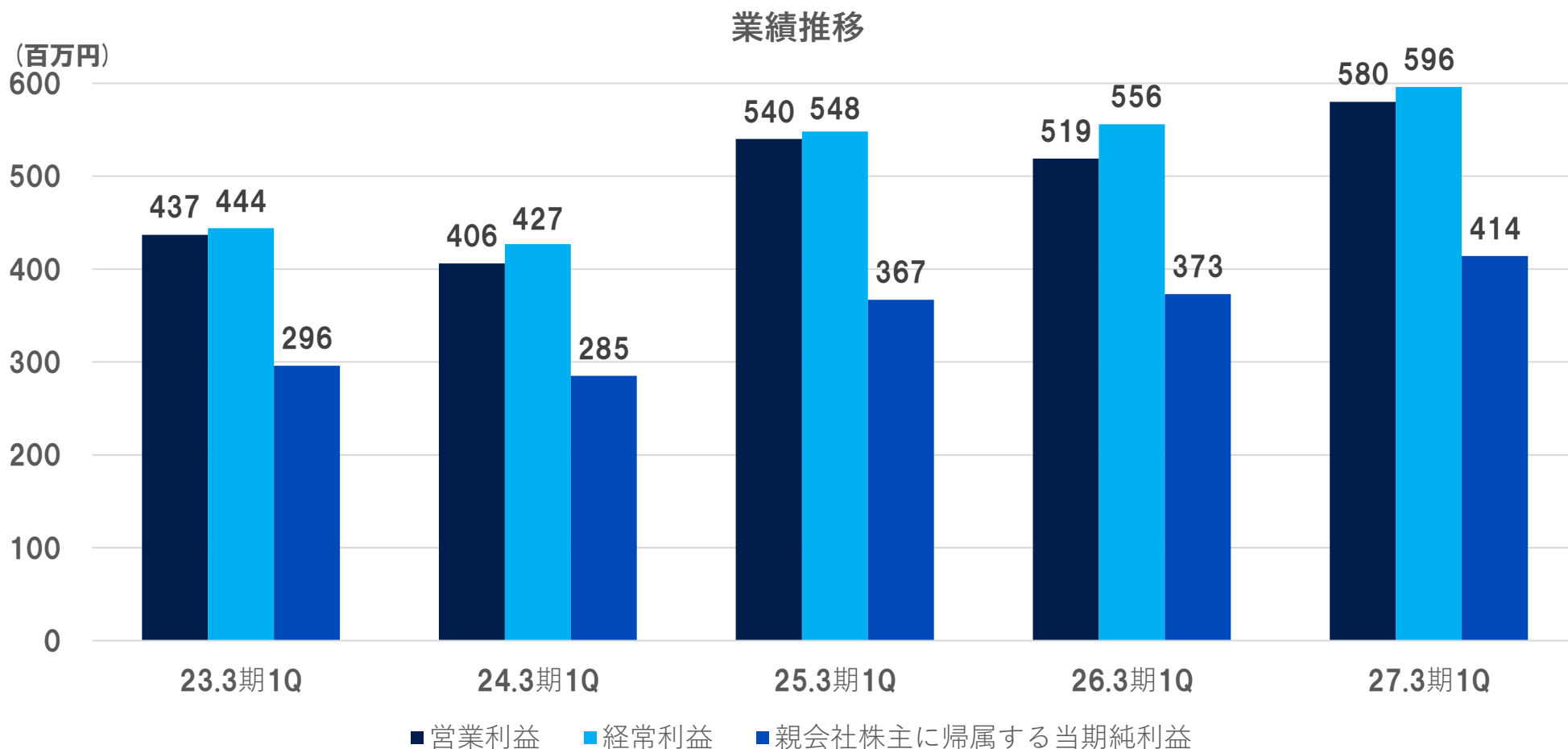
- 営業利益は前年同期比0.2%の増益、経常利益は同4.5%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は同4.3%の増益となりました。



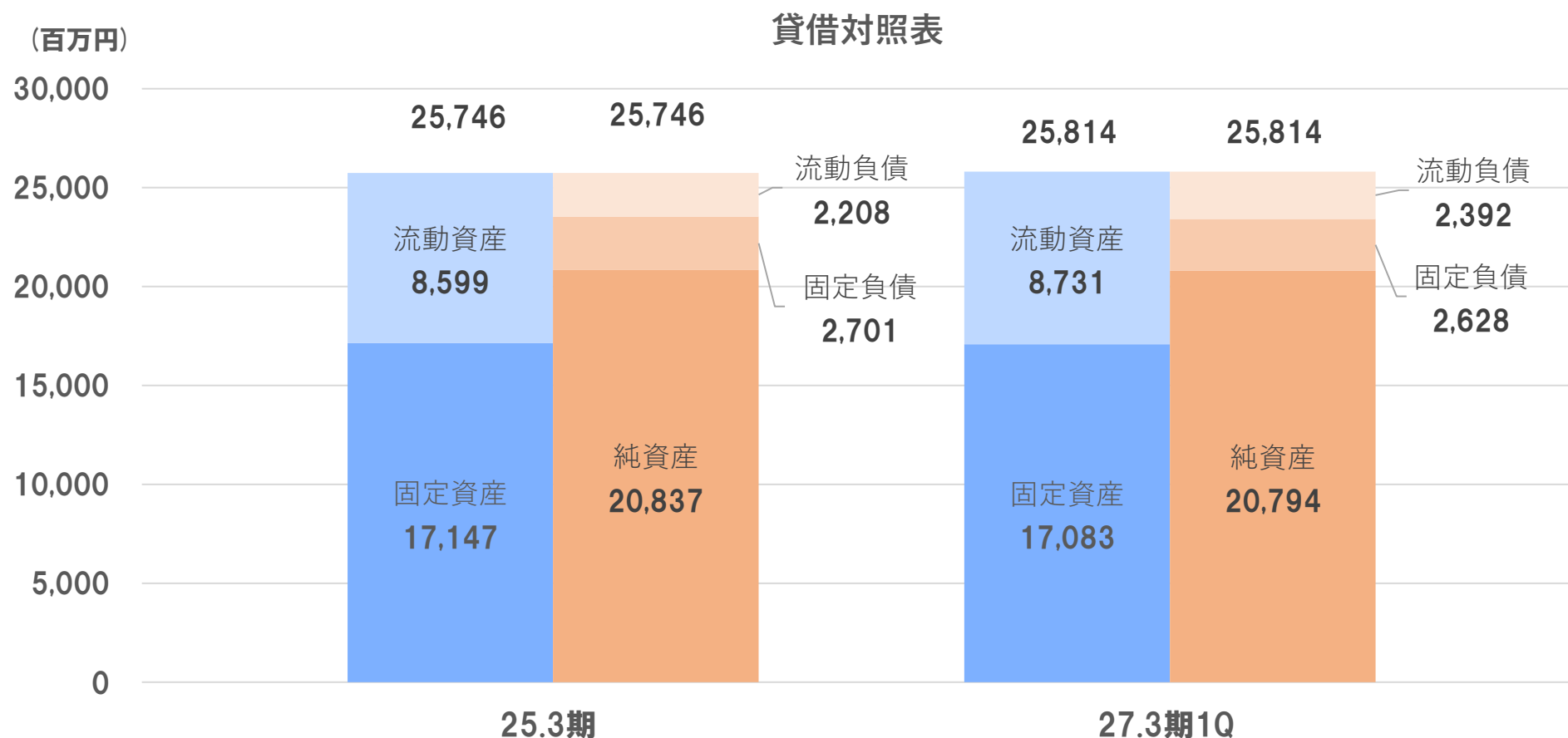
- 売上高は順調に拡大しております。
- 2026年3月期1Qと比べると3.1%、2025年3月期1Qと比べると5.2%の増収となりました。



- 営業利益は前年同期比11.7%の増益、経常利益は7.2%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は11%の増益となりました。

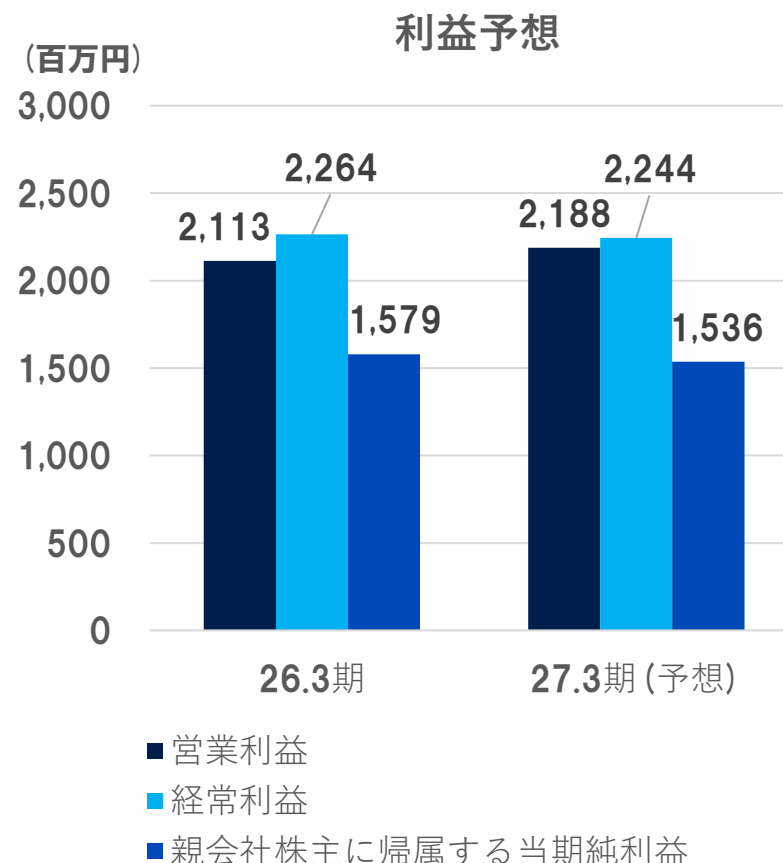
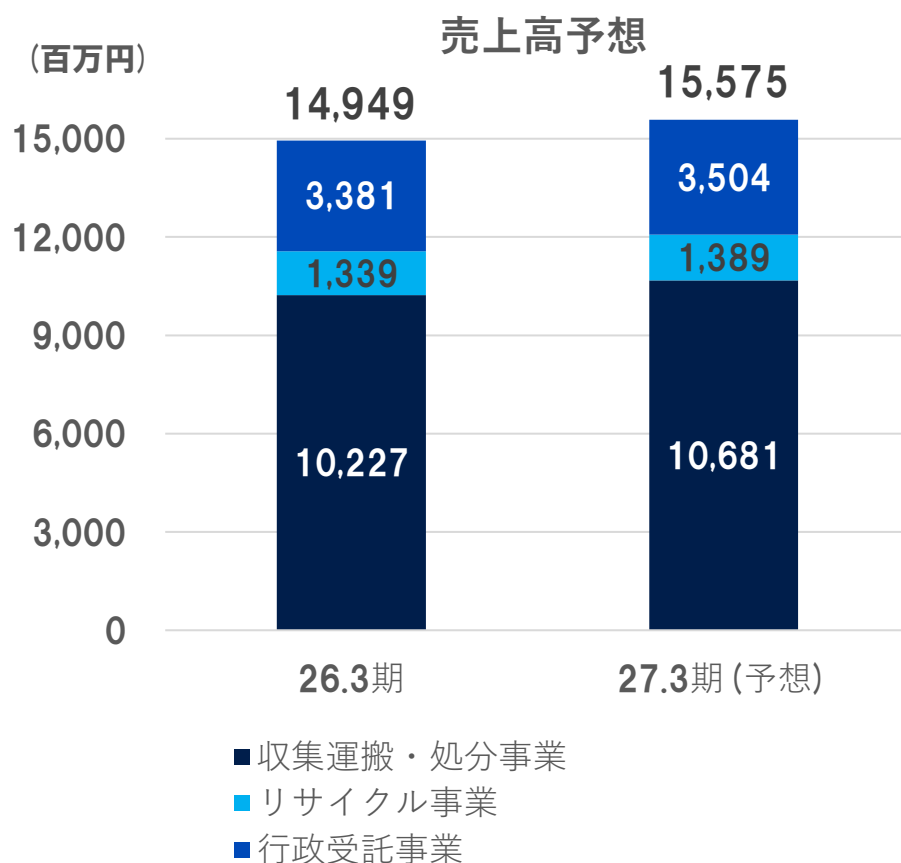


- 流動資産は増加、固定資産は減少しました。
- 流動負債は増加、固定負債と純資産は減少しました。
- 自己資本比率は80.6%となりました。

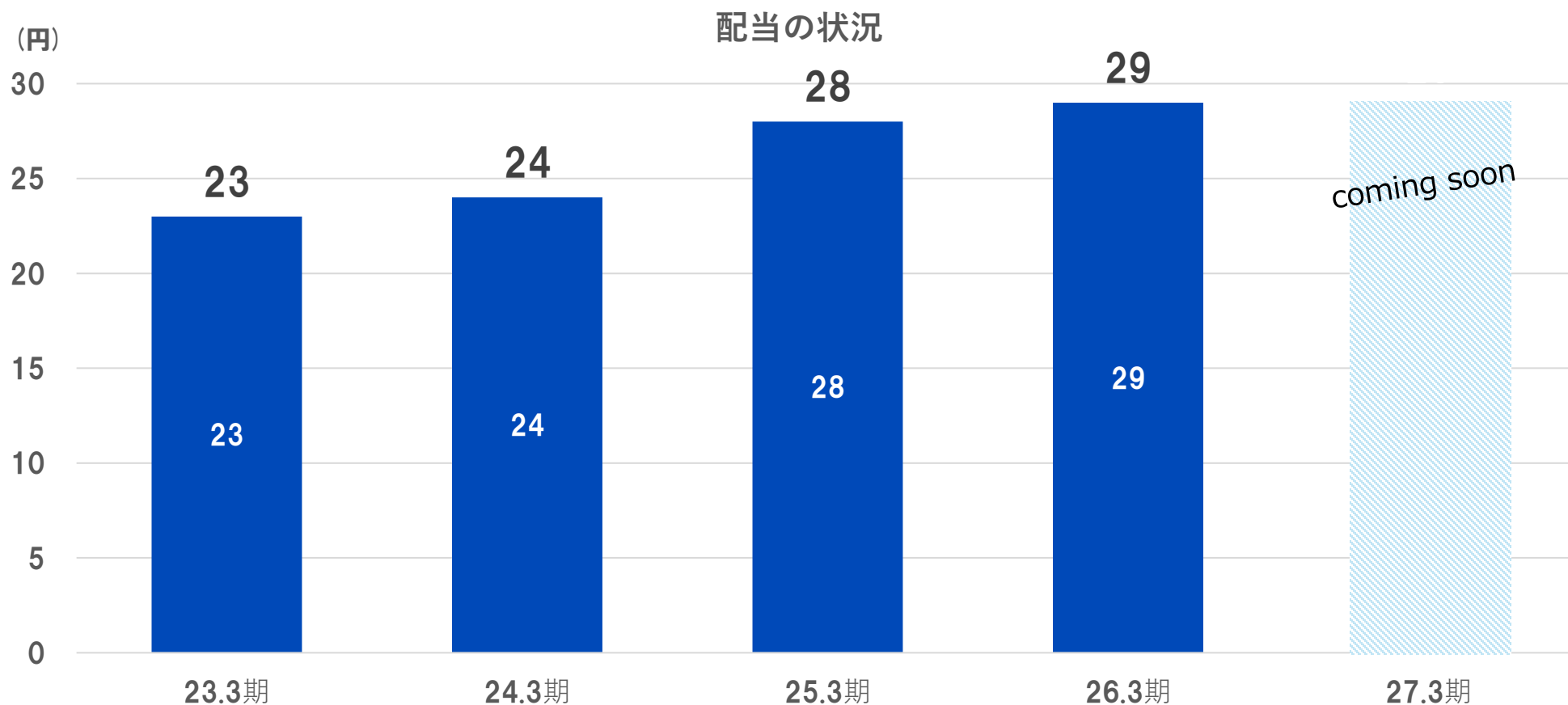




- 売上高は155億7500万円と、前期比4.2%の増加を予想しております。
- 営業利益は前期比3.5%増の21億8800万円、経常利益は同0.9%減の22億4400万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2.7%増の15億3600万円を予想しております。



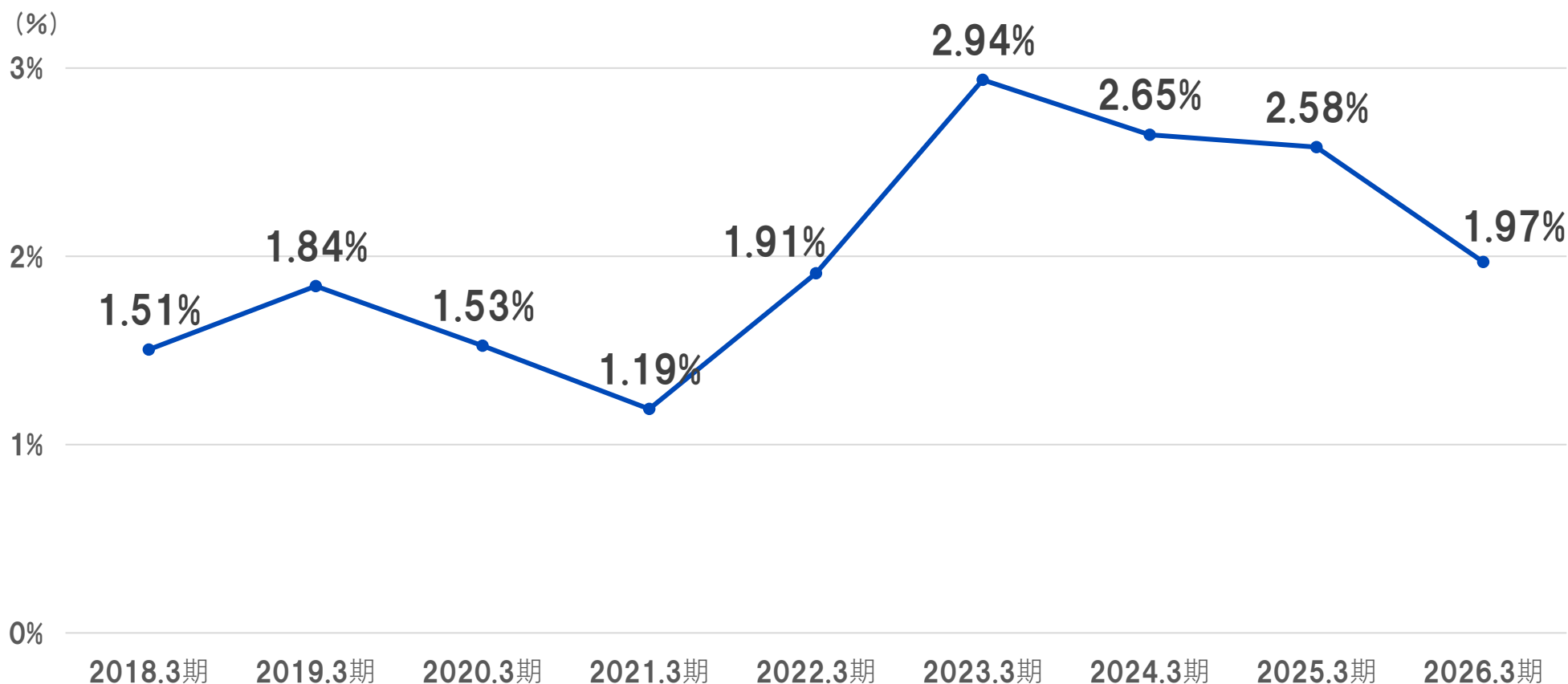
- 株主様への利益還元の一つの施策である配当に関しては、上場当初より配当性向30%水準を目安としております。2026年3月期につきましては、前期より1円増加の29円となりました。



- 2017年12月に上場して以来、株価はこのような推移をたどっております。



- 期末の株価に対しての配当利回りはこのような推移をたどっております。



本説明および資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、資料作成時点において当社が入手している情報から判断した仮定・所信に基づく見込みです。経済動向などに関わるリスクや不確実性を含んでいますので、当社がその実現をお約束する趣旨のものではございません。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。